

私学経営研究会（教頭部会）

2020年大学入試改革の背景には、今社会がかかえている組織の問題を解決する意味が含まれています。1つは技術革新ができる創造的才能者をいかに生み出すか。もう1つは、もはや、カリスマリーダーに頼るのではなく、自らチームアップを行い、それぞれがそれぞれの持ち味をいかして貢献し合い、前に動いていけるチーム作りができるリーダーシップの育成です。

この2つの問題を解決するために、初等中等教育レベルでアクティブラーニングやPBLの導入が図られています。これは高等教育においても同様です。しかし、現状では、まだ完全にシフトしていないために、教育機関を卒業し、社会人になったときに、PBLなどの学びや研究を体験してきた学生が、結果的に社会人になって必要になる経験を前倒して学んでいるために、技術革新の部署や新しいプロジェクトのリーダーになるという目に見えない格差が生まれている可能性があります。

これまで、教頭部会では、中高におけるPBLやアクティブラーニングはいかにして可能か、同志社女子大学の上田信行教授を中心にワークショップを行い研修を重ねて実施してきました。更に21世紀型教育を深化させ「論理的思考力」等を養成していくためには、リベラルアーツの現代化が不可欠であり、そのコアになるのが哲学授業であると確信します。今夏は哲学者の河野哲也教授（立教大学文学部教育学科）に中高生の哲学授業に照準を当て、その重要性と可能性について示唆をいただきます。

また、私たちが今まで体験したり思い描いてきた大学の研究スタイルや20世紀型組織がなくなろうとしているとき、生徒のキャリアデザインも変容するのは当然です。したがって、その変容の重要性を実感した後、さらに中高段階でも、新しい大学の研究の在り方や21世紀の組織や必要とされる人材像に結びつくようなクリエイティブキャリアデザインをAO入試対策の現場で活躍している株式会社カンザキメソッド代表神崎史彦氏に学びます。

目先の大学入試改革のみの議論で終始するのではなく、時代の精神を読み解き、子どもたちのクリエイティブキャリアデザインをどう形成していくかを問う時代がやってきたのです。

1. 研究目標 「リベラルアーツの現代化」と「クリエイティブキャリアデザイン」について考える
2. 会 期 7月28日(土)・29日(日)・30日(月)の2泊3日（現地集合・現地解散）
3. 研修会場 海石榴（神奈川県奥湯河原温泉）〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776
TEL：0465-63-3333 <http://www.tubaki.net>
4. 宿泊会場 山翠楼（神奈川県奥湯河原温泉）〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上673
TEL：0465-63-1111 <http://www.sansuirou.co.jp/>
※ 両会場は徒歩2分ほどの位置関係です
5. 募集定員 60名（副校長、教頭及びこれに準ずる教諭）
6. 参加費 1名につき 52,000円
（3名1室利用。宿泊費〈2泊5食〉、資料印刷費、懇談会費）
7. 日 程 7月28日(土) 13:00受付開始 13:30より開会式
7月30日(月) 12:00閉会式終了予定

月 日	9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19	
	30			30					30				15				15			30		
7月28日(土)									受付	開会式	研修会のはじめに			分散会Ⅰ				休憩			夕食・懇談会(相談)	
7月29日(日)	朝食	講演・ワークショップ			昼食			分散会Ⅱ		休憩		分散会Ⅲ				休憩			夕食・懇談会			
7月30日(月)	朝食	講演	全体会	閉会式	(解散)																	

※講演や分散会の日程は予定です。講師の都合等により時間に変更になる可能性があります。

8. 研究内容

①講演

演 題：「リベラルアーツの現代化」

講 師：立教大学文学部教育学科 河野 哲也 教授

《プロフィール》

1963年東京生、慶應義塾大学文学研究科後期博士課程終了、博士（哲学）。日本哲学会、日本現象学会、日本科学哲学会など多くの学会の理事や委員を務める。専門は、現代哲学と倫理学、近年は環境の問題を扱った哲学を展開している。また、教育の問題にも関心を持っており、対話によって思考とコミュニケーション力を養う教育を、幼稚園・保育園児から高校生を対象として、多くの学校や図書館などで実践している。鎌倉などで大人向けの哲学対話、哲学カフェを実施している。

②講演・ワークショップ

講 師：株式会社カンザキメソッド 神崎 史彦 代表取締役社長

《プロフィール》

1978年2月新潟に生まれ、横浜にて育つ。2001年に法政大学法学部法律学科大学卒業後、大学受験予備校各社において小論文・法科大学院適性試験の講義を担当。論理的思考能力の適切な運用を目指し、形式論理学を応用した小論文の構成法及び執筆の方法論、およびキャリアデザイン理論に基づいた志望理由書・自己推薦書の指導方法を体系化した。また、大学・高校等の教育機関にて小論文・キャリアデザインスキルについての講演を実施し（年間60校以上）、述べ5万人以上が聴講している。現在、講義・講演において教育現場の第一線で活躍する傍ら、書籍執筆や教材開発を通して論理的思考やキャリアデザインの必要性を広める活動を行っている。

ファシリテーター：工学院大学附属中学高等学校 田中 歩 教務主任

③分散会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

(ア) 教頭の任務 (イ) 教員人事と校務分掌 (ウ) 労務管理

(エ) その他及び講演・ワークショップ内容についての協議

◆分散会では、10～20名前後の3つのグループ別に情報交換や意見交換を行います。

分散会には、弁護士の先生方にもお入りいただき、ご指導・ご助言をいただく予定です。

【参加弁護士】名川・岡村法律事務所 弁護士 6名（予定）

9. 個別無料法律相談

夜の懇談会の時間帯に名川・岡村法律事務所の弁護士の先生方と個別の無料法律相談が可能です。希望される場合は、申込書の所定欄に必要事項をご記入ください。

10. その他

- ① 参加のお申込みをいただきました先生方に、事前アンケートを送付いたします。分散会での資料となりますので、ご協力をお願いいたします。
- ② 可能であれば、6月26日(火)までに貴校の校務分掌、及び年間行事予定表を各1部、東京私学教育研究所・教頭部会担当宛にお送りください。お送りいただきました資料は、当研究所で印刷し、当日会場で配付いたします。是非ともご協力をお願いいたします。なお、当日の持込みはご遠慮ください。
- ③ 客室は全室禁煙といたします。喫煙する場合は指定の場所をお願いいたします。

11. 委 員 (順不同)

委員長	平方 邦 行 (工学院大学附属)	永 見 利 幸 (京 華)
副委員長	佐藤 元 紀 (芝)	平 野 昌 子 (下北沢成徳)
	安達 毅 (大森学園)	高 橋 あゆち (藤村女子)
	川 上 裕美子 (東京音大付属)	